

2026年度第1四半期決算の概要

－ 会社説明会資料 －

2026年8月20日

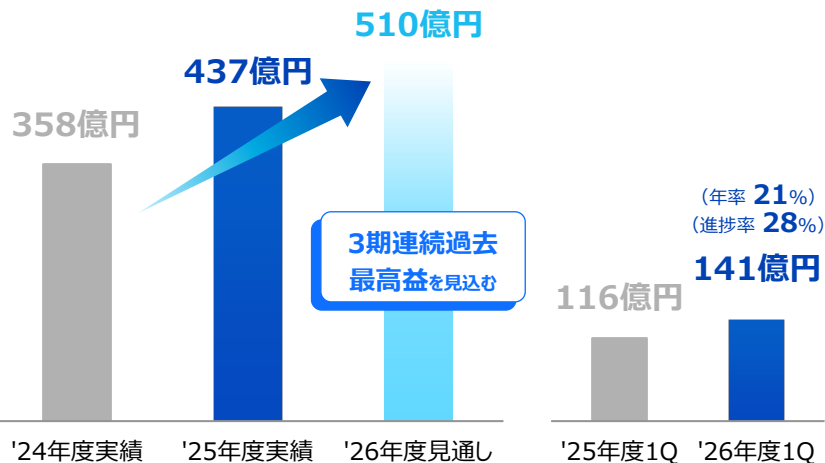


第1四半期決算のポイント

親会社株主に
帰属する
四半期純利益

141億円
(年率 **21%**、進捗率 **28%**)

親会社株主に帰属する当期純利益



✓ 注力分野の取組みが着実に進展

- 注力分野である「地域開発ビジネス」、「法人ソリューション」、「船舶ファイナンス」の取組みが順調に推移

✓ 事業性貸出が大きく伸長

- 収益性の高い「船舶ファイナンス」を中心に、事業性貸出が大きく伸長し、資金利益の伸びを牽引

事業性貸出

年率 **+11.0%**
('25/6末 → '26/6末)

うち 船舶ファイナンス
(外航船のみ)

年率 **+16.6%**
('25/6末 → '26/6末)

✓ 預金も堅調に推移

- 貸出金の伸びを支える預金についても、個人預金・法人預金ともに年率は堅調に推移

預金

年率 **+1.8%**
('25/6末 → '26/6末)

目次

I. 2026年度第1四半期決算の概要	… p.4
II. 2026年度の業績予想	… p.12
III. 企業価値向上に向けて	… p.14
Appendix – 「中期計画2024」の経営目標 –	… p.26

未来を、ひろげる。



I. 2026年度第1四半期決算の概要

2026年度第1四半期決算の概要

ひろぎんHD 連結業績サマリー

	2026年度 第1四半期	前年 同期比 (増減率)	進捗率
連結粗利益	359	45 (14.4%)	
(除く国債等債券関係損益)	381	63	
資金利益	294	51	
役務取引等利益	66	6	
特定取引・その他業務利益	△ 2	△ 12	
(うち国債等債券関係損益)	△ 22	△ 18	
営業経費 (△)	177	10	
与信費用 (△)	△ 4	9	
株式等関係損益	16	11	
持分法による投資損益	0	0	
その他	0	0	
経常利益	203	37 (22.5%)	27%
特別損益	△ 0	1	
法人税等合計 (△)	62	14	
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△)	△ 0	0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	141	25 (21.1%)	28%
(参考) 営業経費率 ※	46.5%	△ 6.1%	

(億円)

※ 営業経費率 = 営業経費 ÷ (連結粗利益 - 国債等債券関係損益)

広島銀行 業績サマリー

	2026年度 第1四半期	前年 同期比 (増減率)
コア業務粗利益	347	60 (20.7%)
資金利益	297	53
非資金利益	49	6
法人ソリューション	15	5
アセットマネジメント	9	1
個人ローン関連収益	7	△ 1
その他 (内国為替、外国為替等)	18	1
経費 (除く臨時処理分) (△)	157	12
コア業務純益	190	48 (33.4%)
コア業務純益 (除く投信解約損益)	190	48 (33.4%)
国債等債券関係損益	△ 22	△ 18
実質業務純益	167	29 (21.0%)
与信費用 (△)	△ 5	9
株式等関係損益	16	11
その他臨時損益	2	1
経常利益	191	32 (20.3%)
特別損益	△ 0	1
法人税等合計 (△)	57	12
四半期純利益	133	21 (18.7%)

(億円)

主要グループ会社の実績 - 広島銀行以外 -

金融連結子会社

非金融連結子会社

ひろぎん証券

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	1,639	462
経常利益	588	396
四半期純利益	394	262

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	940	△ 234

ひろぎんリース

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	840	28
経常利益	481	56
四半期純利益	324	32

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	1,050	49

しまなみ債権回収

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	204	94
経常利益	84	111
四半期純利益	58	77

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	250	50

ひろぎんキャピタルパートナーズ

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	110	47
経常利益	46	27
四半期純利益	31	18

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	115	379

ひろぎんクレジットサービス

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	934	△ 110
経常利益	460	△ 38
四半期純利益	297	△ 30

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	1,308	△ 30

ひろぎんライフパートナーズ

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	24	17
経常利益	5	12
四半期純利益	3	8

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	30	32

ひろぎんヒューマンリソース

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	112	45
経常利益	18	26
四半期純利益	12	18

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	11	△ 22

ひろぎんエリアデザイン

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	10	4
経常利益	△ 97	△ 14
四半期純利益	△ 97	△ 14

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	60	△ 17

ひろぎんITソリューションズ

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	159	△ 15
経常利益	△ 79	△ 28
四半期純利益	△ 57	△ 22

(百万円)	2026年度 計画	前年比
当期純利益	150	77

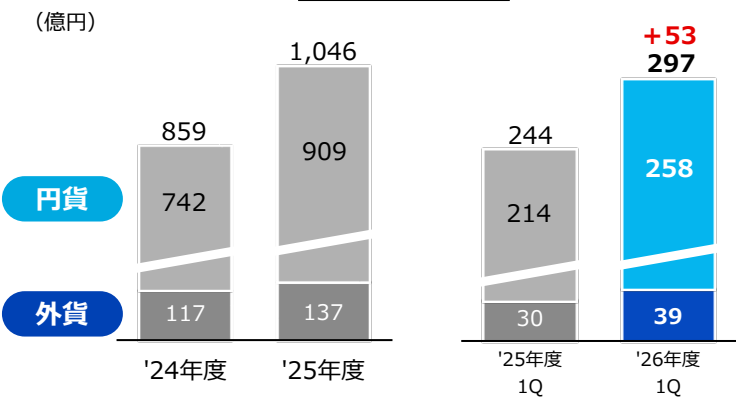
グループ会社当期純利益※

(百万円)	2026年度 第1四半期	前年同期比
グループ会社 四半期純利益	1,073	358

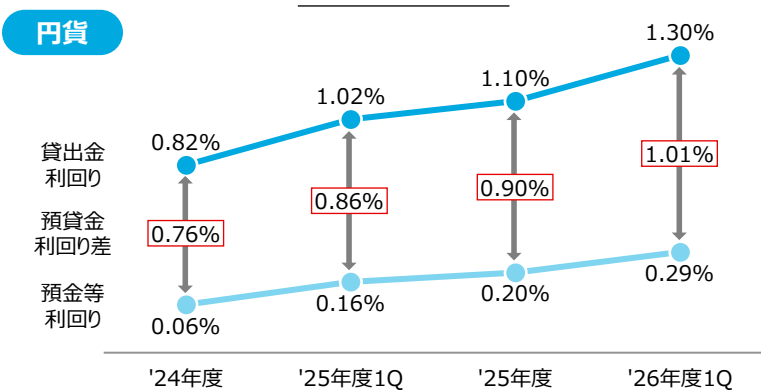
(百万円)	2026年度 計画	前年比
グループ会社 当期純利益	3,956	210

※ 銀行を除く連結子会社等の当期(四半期)純利益に
出資比率を乗じた額の合計

資金利益

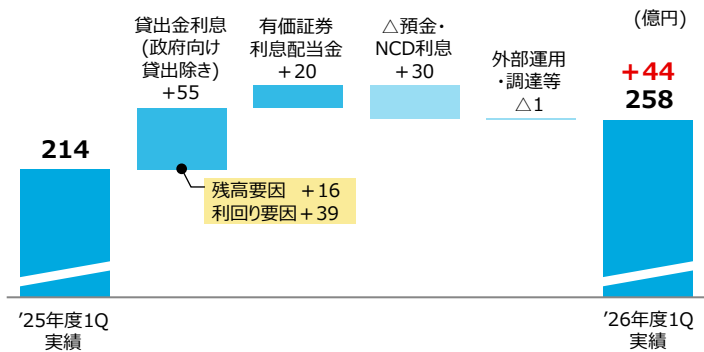


預貸金利回り

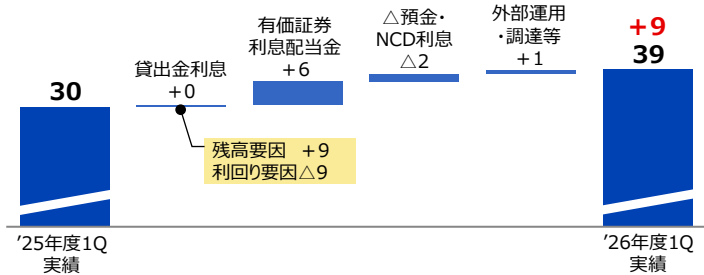


資金利益の増減要因

円貨資金利益

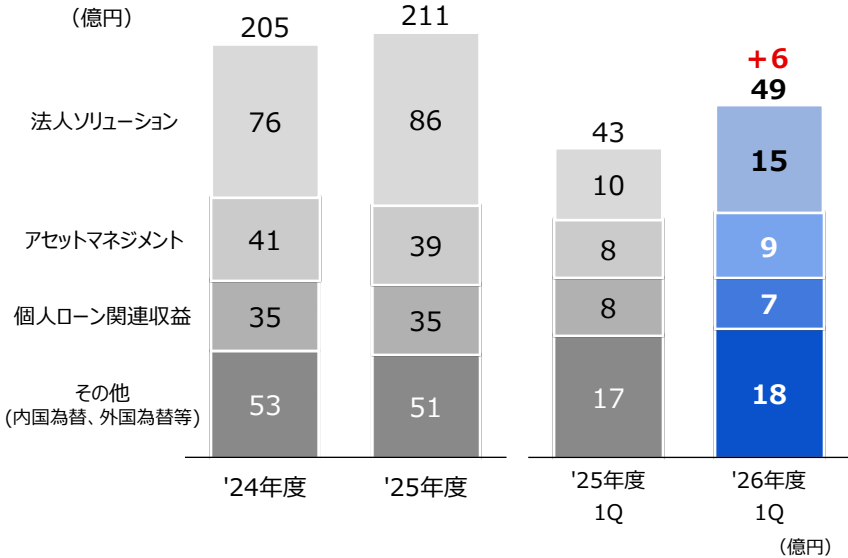


外貨資金利益



非資金利益

非資金利益 = 役務取引等利益 + 特定取引利益
+ その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)



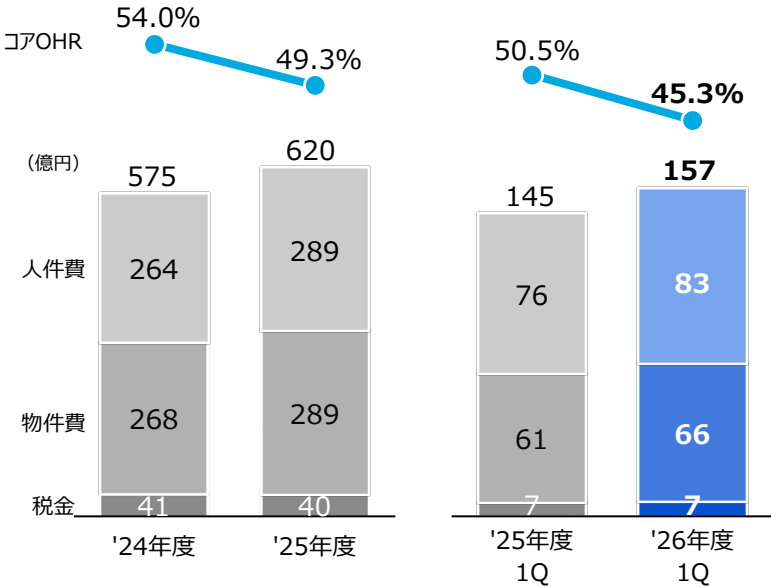
	'24年度	'25年度
アセットマネジメント (グループ合計)	91	101
うち広島銀行	41	39
うちグループ会社※	50	62

※ グループ内取引控除後

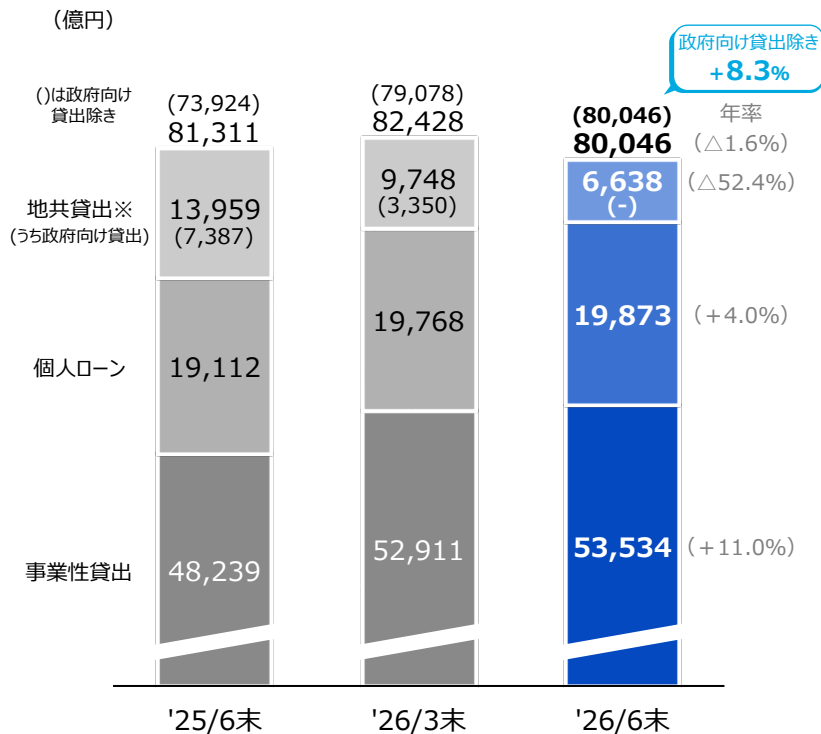
	'25年度 1Q	'26年度 1Q	前年同期比
アセットマネジメント (グループ合計)	20	26	6
うち広島銀行	8	9	1
うちグループ会社※	12	17	5

経費 (除く臨時処理分) ・ コアOHR

コアOHR = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

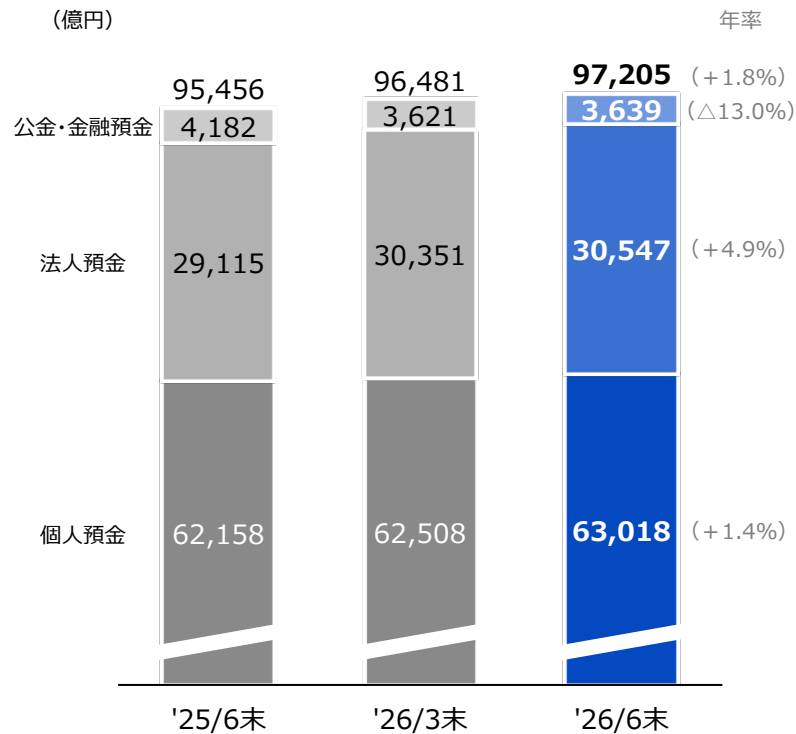


貸出金（末残）



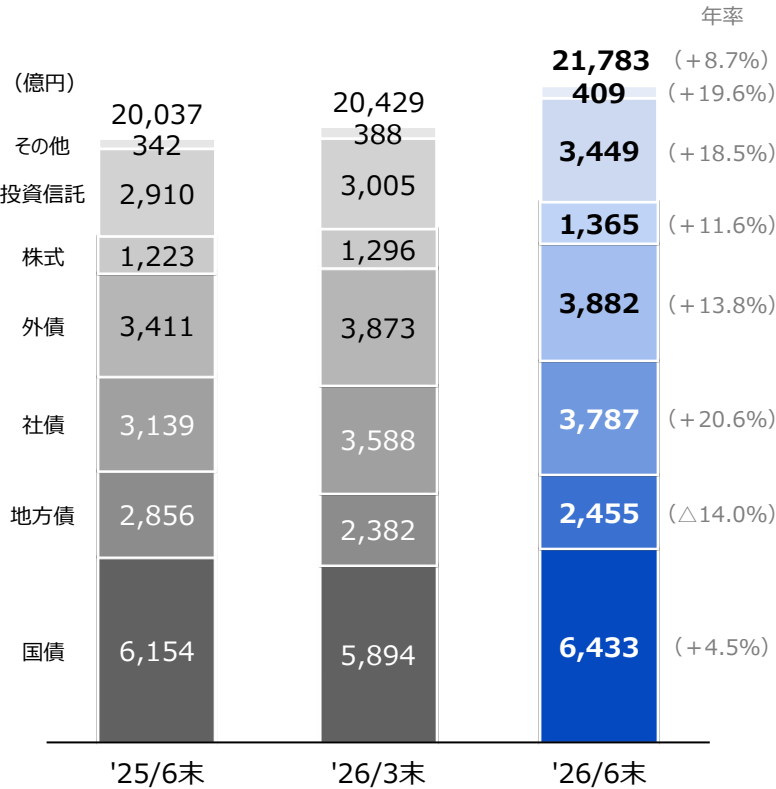
※ 地共貸出…地方公共団体、公社および政府向けの貸出

預金等（末残）



※ 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

有価証券（未残）



有価証券評価損益

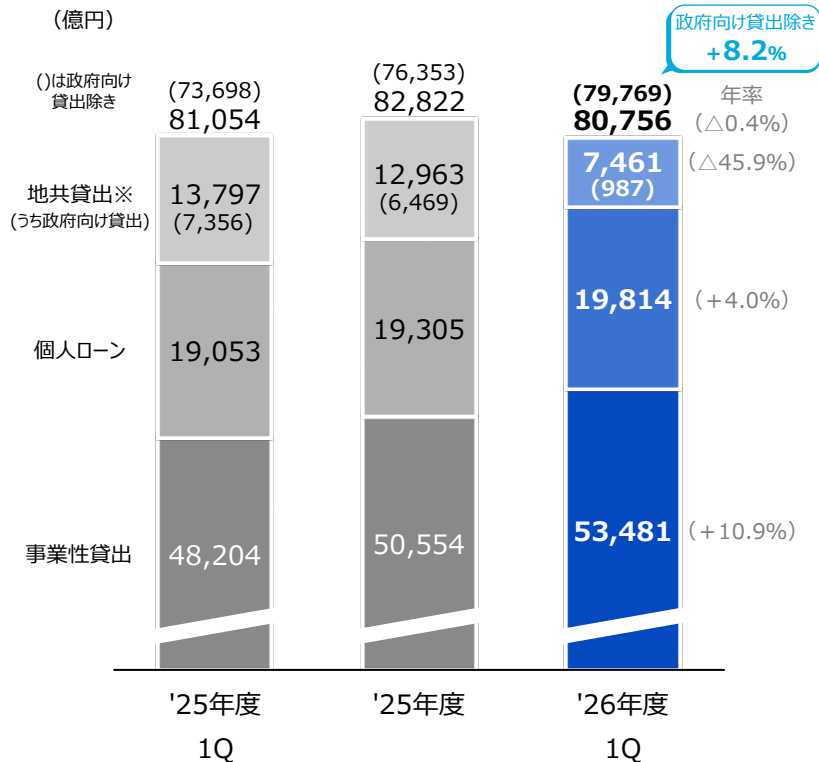
(億円)

	'26/6末	'26/3末比
満期保有目的	△ 75	△ 7
其他有価証券 ※	283	411
株式	749	93
債券	△ 1,349	△ 67
国債	△ 891	△ 60
地方債	△ 147	8
社債	△ 309	△ 14
其他	882	384
うち外債	△ 78	△ 11
うち投資信託	961	395
合計	207	404

※ヘッジ考慮後の評価損益

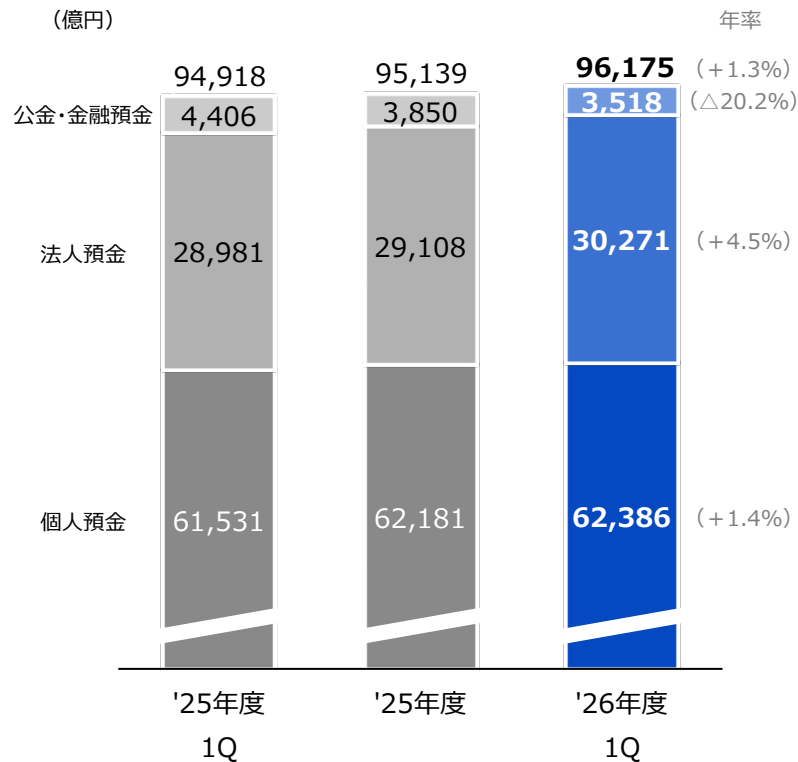
其他有価証券(ヘッジ考慮前)	283	411
金利スワップ	564	71
其他有価証券(ヘッジ考慮後)	847	483

貸出金（平残）



※ 地共貸出…地方公共団体、公社および政府向けの貸出

預金等（平残）



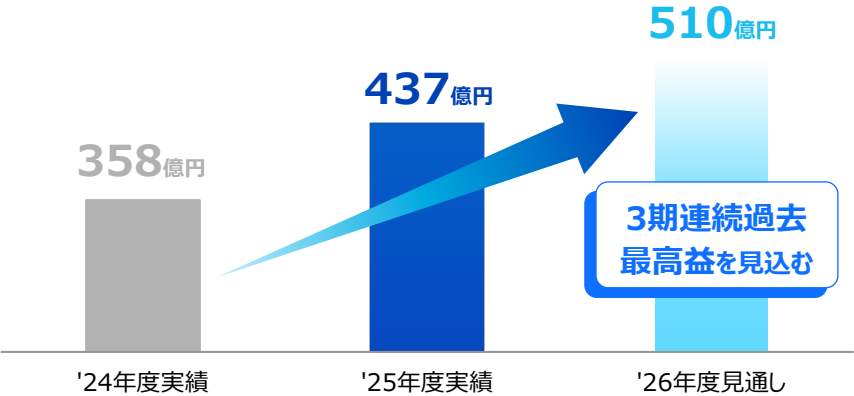
※ 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

Ⅱ．2026年度の業績予想

2026年度の業績予想

▶ 2026年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、3年連続の過去最高益となる510億円を見込む。（年初公表値から変更なし）

親会社株主に帰属する当期純利益



業績予想の前提となるマーケットシナリオ

円 貨 金 利：（短期）日銀政策金利 1.25%※ （長期）10年国債金利 2.30%
外 貨 金 利：（短期）FF金利 3.50%※ （長期）米10年国債金利 4.30%
為替（ドル／円）： 150円
日 経 平 均 株 価：55,000円
※2027年3月末時点

【HD連結】 (億円)

	中間期 業績予想	2026年度 業績予想	前年比
経常利益	345	745	125
親会社株主に帰属する 当期純利益	235	510	73
連結ROE		8.7%	0.5%

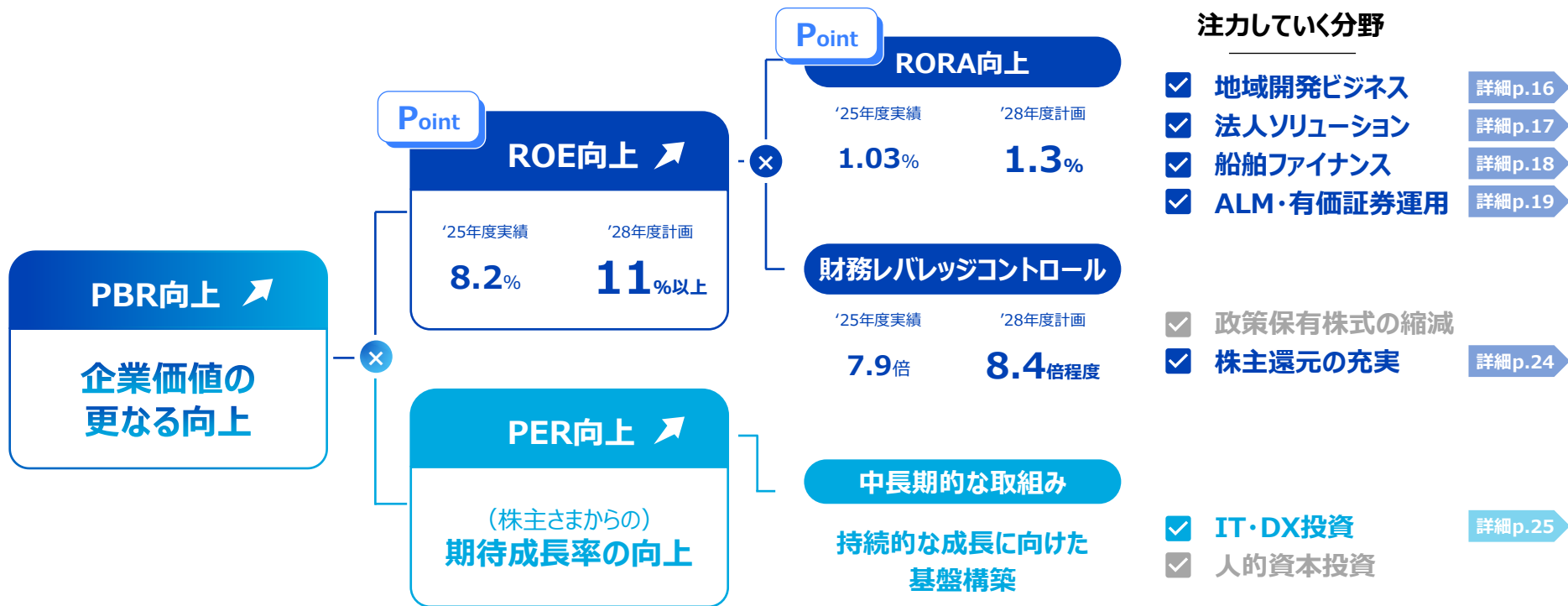
(参考) 広島銀行の2026年度の個別業績予想 (億円)

	中間期 業績予想	2026年度 業績予想	前年比
資金利益		1,185	139
非資金利益		215	4
コア業務粗利益		1,400	143
経費 (△)		665	45
コア業務純益		735	98
うち有価証券関係損益		15	64
うち与信費用 (△)		70	43
経常利益	320	685	116
当期純利益	220	475	72

Ⅲ．企業価値向上に向けて

企業価値向上に向けて

- ▶ 企業価値の向上に向けて、ROE、RORAの向上に注力していく。



(注) RORA : 親会社株主に帰属する当期純利益÷リスクアセット

ROE向上に向けた取組み – 地域開発ビジネス –

地域開発ビジネス関連収益 進捗状況

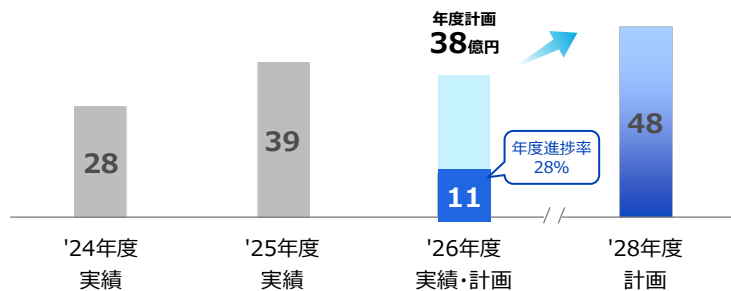
28%

- ▶ 2026年4月に不動産私募ファンドの組成・運用に関する投資助言会社「ひろぎんリージョナルアドバイザーズ」を設立し、ストック収益に加えフロー収益の拡大を推進。

計数実績

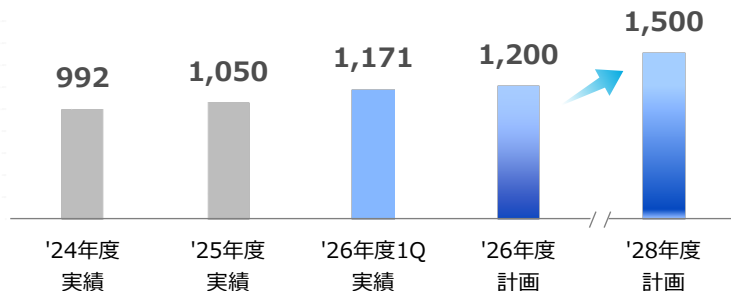
地域開発ビジネス関連収益の実績・計画

(億円)



事業性貸出残高 (地域開発ビジネス) の実績・計画

(平残、億円)



第1四半期の状況

ポイント 第1四半期のハイライト・今後の展望

- ✓ 2026年4月に、不動産私募ファンドの組成・運用に関する投資助言を担う「ひろぎんリージョナルアドバイザーズ」を新設
- ✓ 従来のファイナンスによるストック収益に加え、案件の組成から開発後の運営まで一貫して関与することで、各フェーズにおける手数料等のフロー収益にも注力
- ✓ ヒルトン（廿日市市・宮島口）やバンヤンツリー（呉市・音戸の瀬戸）等の外資系ホテルの進出支援案件が順調に進捗

トピックス Umiuta Hiroshima, LXR Hotels & Resortsの起工式を開催

- 2026年7月、当社保養所跡地に建設を予定しているUmiuta Hiroshima, LXR Hotels & Resortsの起工式を開催
- 2028年の開業に向けて、2026年8月より着工



外観イメージ



起工式

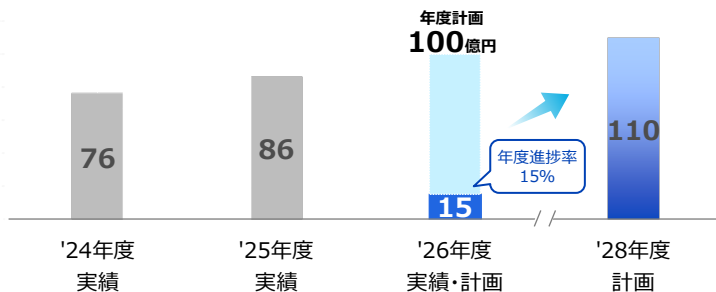
- ▶ RM（Relationship Management）機能のさらなる深化を図るべく、自動車RMの知見を活用した製造業RMを創設し、地元製造業への支援を強化。

計数実績

第1四半期の状況

法人ソリューション関連収益の実績・計画

（億円）



ポイント

第1四半期のハイライト・今後の展望

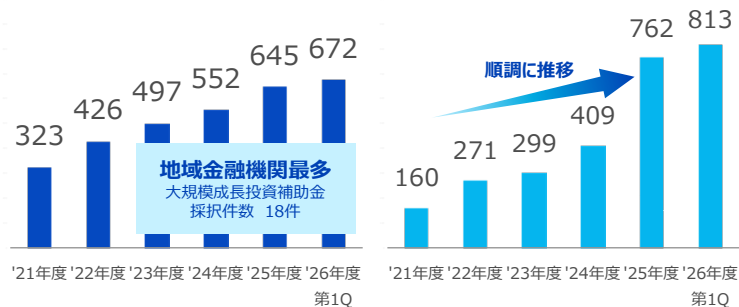
- ✓ 地元企業を中心とした事業承継等への支援に加え、地域の枠を超えた成長型M&A案件の取込みを強化
- ✓ 従来、本部のみで利用していたM&A案件専用の管理クラウドを支店にも展開し、案件情報の一元管理を進めることで、案件発掘力を強化
- ✓ 法人ソリューション分野へ重点的に人員を配置しているなか、M&Aラインにおいて経験年数3年未満の人員が約75%を占めていることを踏まえ、人材育成を強化

補助金支援件数実績（累計）

補助金収益額実績（累計）

（百万円）

大規模成長投資補助金（補助上限額50億円）を主因として収益は大きく飛躍



トピックス

製造業RM（Relationship Management）の創設

- 自動車RMで蓄積したノウハウとネットワークを活用し、地元製造業支援を強化すべく製造業RMを創設

自動車RM



- 2001年に設立
- 自動車関連企業出身を受入
- 地元サプライチェーンの強靱化に向けた取組みおよび県内自動車産業発展への貢献がミッション

製造業RM



- 自動車RMで蓄積したノウハウ（事業性評価）を活用
- 県内大手製造業や外部専門家等と連携した経営改善支援、グループ機能を活用したソリューション提供によって地元製造業の成長と再生に貢献

事業性評価の源流

製造業領域に特化したコンサルティング提供

ROE向上に向けた取組み – 船舶ファイナンス –

船舶ファイナンス関連収益 進捗状況

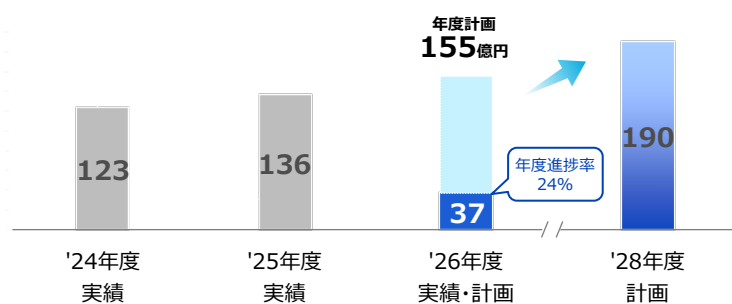


- ▶ 「船舶ファイナンス」の実行額は堅調に推移しており、当社グループの収益力向上を牽引。

計数実績

船舶関連収益の実績・計画

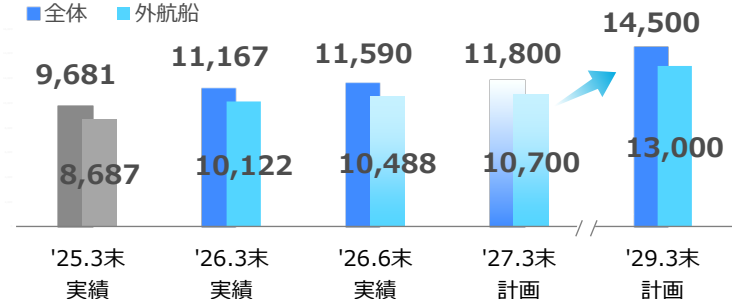
(億円)



船舶関連の事業性貸出残高の実績・計画

(末残、億円)

■ 全体 ■ 外航船



第1四半期の状況

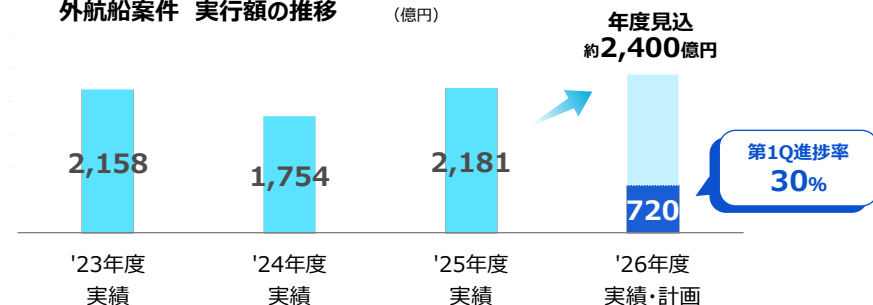
ポイント 第1四半期のハイライト・今後の展望

- ✓ 新規案件・リプレース案件の積上げにより船舶関連の事業性貸出残高が着実に伸長
- ✓ HIROGIN GLOBAL CONSULTING（シンガポール現地法人）との連携も含めたストラクチャードファイナンスへの対応を強化
- ✓ 造船再生に向け今後見込まれる資金需要への対応を強化

トピックス 外航船案件の順調な実行残高の積上げ

外航船案件 実行額の推移

(億円)



バランスシート運営 – ALM –

▶ 収益性の高い資産へのシフトを進めるとともに、持続的な収益成長に向けた預金獲得や調達手段の多様化を推進。

貸出金

- 1 収益性の高い「船舶ファイナンス」を中心に事業性貸出の需要が旺盛で、高い年率を計上
- 2 収益性の低い「政府向け貸出」の残高を2026年5月末までにゼロにするなど、収益性の高い貸出金へのシフトを進め、アセット効率を改善

(億円)

	'26/6末	年率
事業性貸出	53,534	+11.0%
うち、船舶ファイナンス (外航船のみ)	10,488	+16.6%
個人ローン	19,873	+4.0%
うち、住宅ローン	13,719	+6.1%
地共貸出	6,638	▲52.4%
うち、政府向け貸出	—	▲100.0%
全体	80,046	▲1.6%

政府向け貸出除きの貸出金年率 +8.3%

有価証券

- 残高2兆円程度を維持しつつ、高い資金利益を安定確保できる有価証券ポートフォリオへ入替え

広島銀行のバランスシート（'26/6末時点）



預金

- 3 個人預金・法人預金ともに、過度な金利キャンペーンを実施せず、預金コストを抑制しながら、堅調に預金を獲得

(億円)

	'26/6末	年率
個人預金	63,018	+1.4%
法人預金	30,547	+4.9%
公金・金融預金	3,639	▲13.0%
全体	97,205	+1.8%

	'25年度1Q	'26年度1Q
円貨預金利回り	0.16%	0.29%
(参考) 政策金利	0.50%	0.75%

その他調達

- 収益性の高い貸出金の堅調な伸びを支えるため、多様な調達手段を検討

コール・CP 社債

▶ 当社の想定する政策金利シナリオを上回るペースで利上げが進んだ場合、親会社株主に帰属する当期純利益への影響は約20億円の増益を見込む。

	'26年度		'27年度		'28年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
日本銀行 政策金利	0.75%	1.00%	1.00%	1.25%	1.50%	ターミナルレート 1.50%

利上げ内容	親会社株主に帰属する 当期純利益
’26年9月：1.00% ’27年3月：1.25%	510億円

利上げ時期	親会社株主に帰属する 当期純利益
'26年6月：1.00% '26年10月：1.25%	+20 億円程度

- '26.3末時点のバランスシートにて試算
- 貸出金利回りの追従率：（短プラ）短期50%、長期90%
スプレッド貸出100%
- 預金利回り：（流動性）政策金利の40%
（定期性）政策金利の60%

バランスシート運営 - 有価証券 -

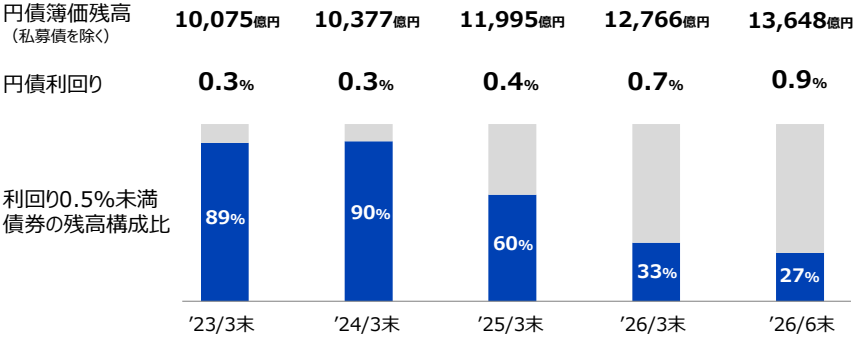
- ▶ 円債について、金利リスクを抑制しながら低利回り債の削減を進めた結果、利回りは着実に改善。
- ▶ 引続き、高い資金利益を安定的・継続的に確保できる有価証券ポートフォリオを構築していく。

円債の運用状況

円債の運用方針

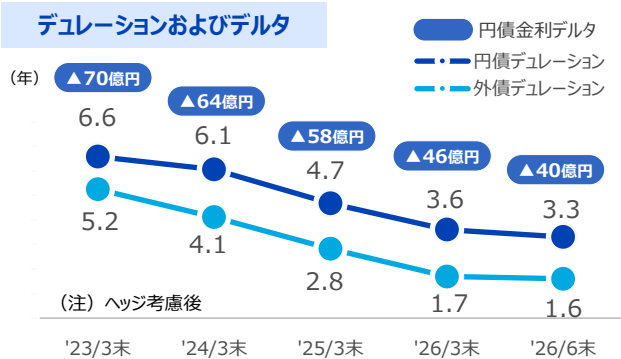
ラダーポートフォリオの構築を進めるなか、当面はデュレーションを短期化しつつ、利回り向上を図る

低利回り債の削減状況



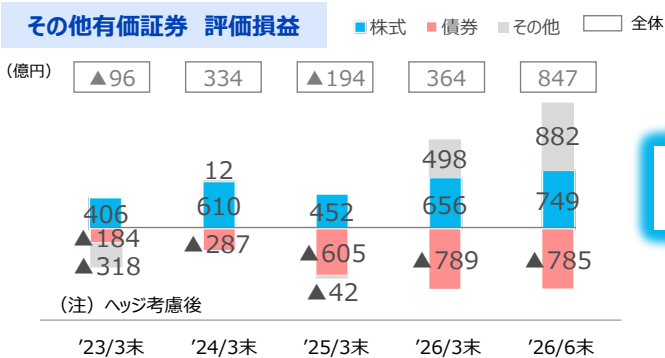
低利回りの円債の削減を進め、利回りは着実に改善

有価証券ポートフォリオの状況



デュレーションは
着実に短期化

円債金利デルタ：
10bp上昇時の時価変動額

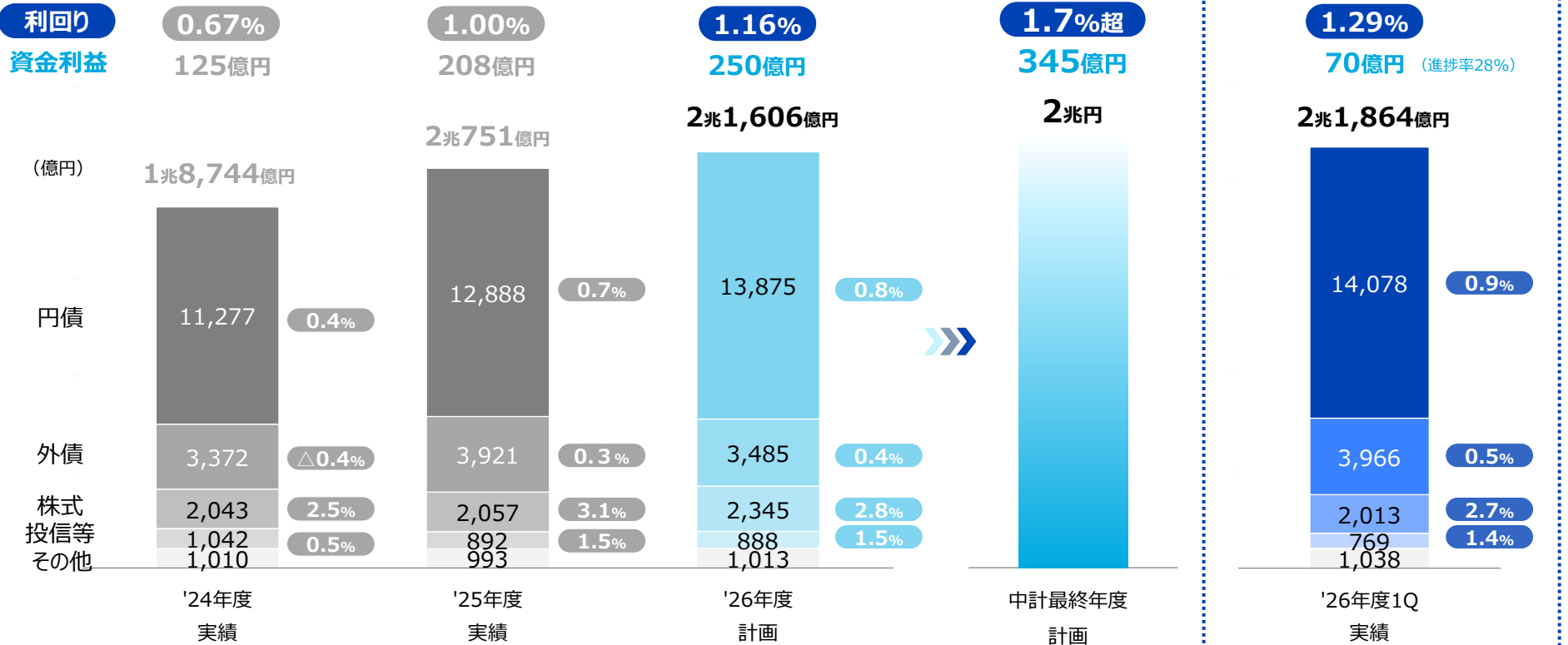


ポートフォリオの
評価損益は改善

バランスシート運営 - 有価証券 -

▶ '26年度1Qは順調に進捗し、有価証券ポートフォリオの収益力は着実に改善。

有価証券ポートフォリオの状況



(注) 内部管理計数ベース、残高は平残（簿価ベース）、
利回りは外部調達費用考慮後、有価証券残高（全体）に政策投資含み、投信等に特定金銭信託含む

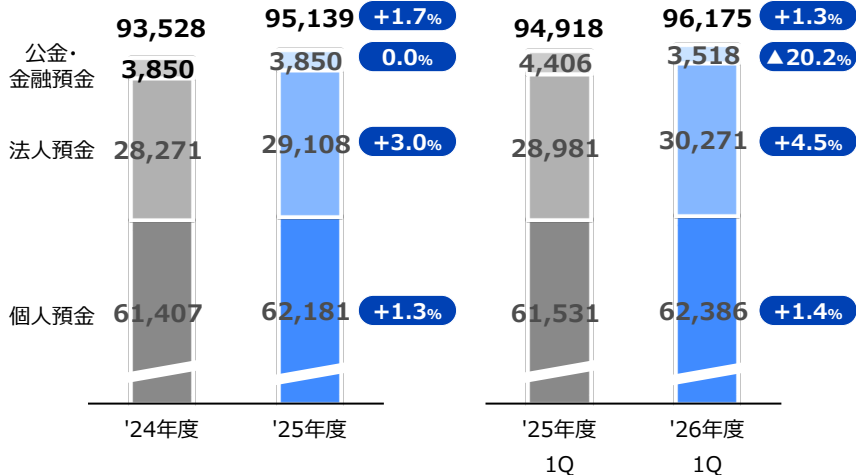
バランスシート運営 - 預金 -

- ▶ 金利上昇による過度な金利競争に踏み込むことなく、預金コストの上昇を適切に抑制する中、預金増強を推進。

当社の実績 (億円)

(広島銀行) 預金等残高推移 平残

● は、年率



※ 預金等は、譲渡性預金を含む

**過度な金利キャンペーンを実施せず
(預金コストを抑制)、順調に預金を獲得**

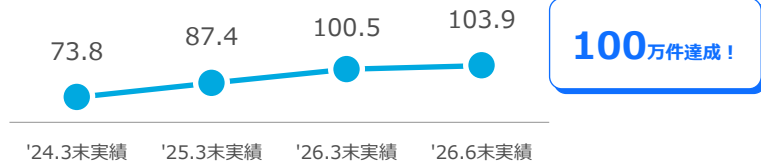
当社の取組み

法人

- ✓ 貸出金シェアに見合った預金シェアの確保
- ✓ 純預金先とのリレーション強化
- ✓ ビジネスポータルを活用した決済機能の囲い込み

- ✓ ひろぎんアプリを活用したお客さまの利便性向上

ひろぎんアプリのダウンロード件数 (累計、万件)



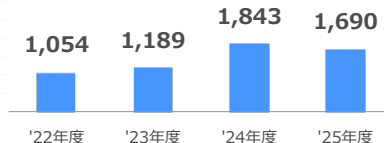
個人

- ✓ <ひろぎん> ライフコンサルプラザを活用した預金獲得の強化

- 土日に営業する<ひろぎん> ライフコンサルプラザにおいて幅広い商品のご提案 (ローン・保険・資産運用) を通じて、お客さま接点を拡大



住宅ローン実行額の推移 (億円)



資本政策

- ▶ 配当性向については、40%程度を基本方針とし、2026年度の1株当たりの年間配当額は、前年比12円増配の70円を予定。
- ▶ 自己株式取得については、連結自己資本比率「10%程度」（2026年度ターゲット）を目処とする中、自己資本比率の水準に応じて機動的に運営。

配当性向

利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的かつ持続的な増加を基本とし、**配当性向を40%程度とする**

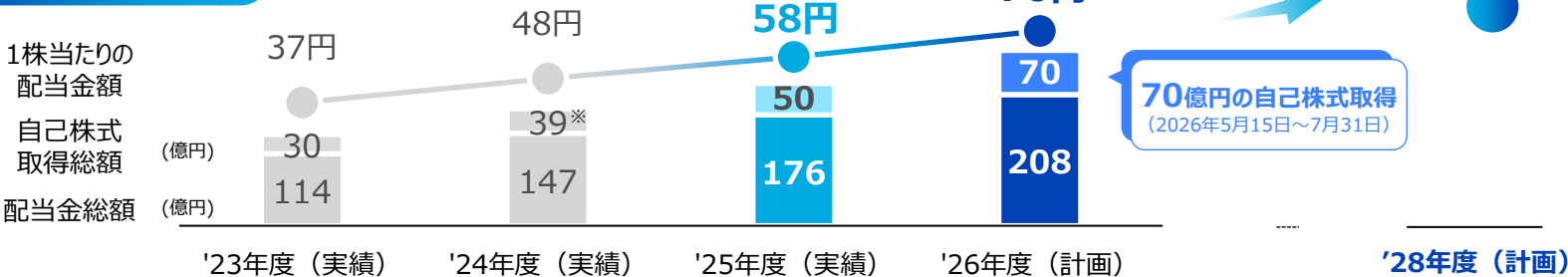
自己株式取得

財務の健全性を維持する中、業績動向や市場環境等を総合的に考慮したうえで**機動的に実施**

2026年度 自己資本比率目標

（HD連結・銀行単体）10%程度

株主還元の実績・計画

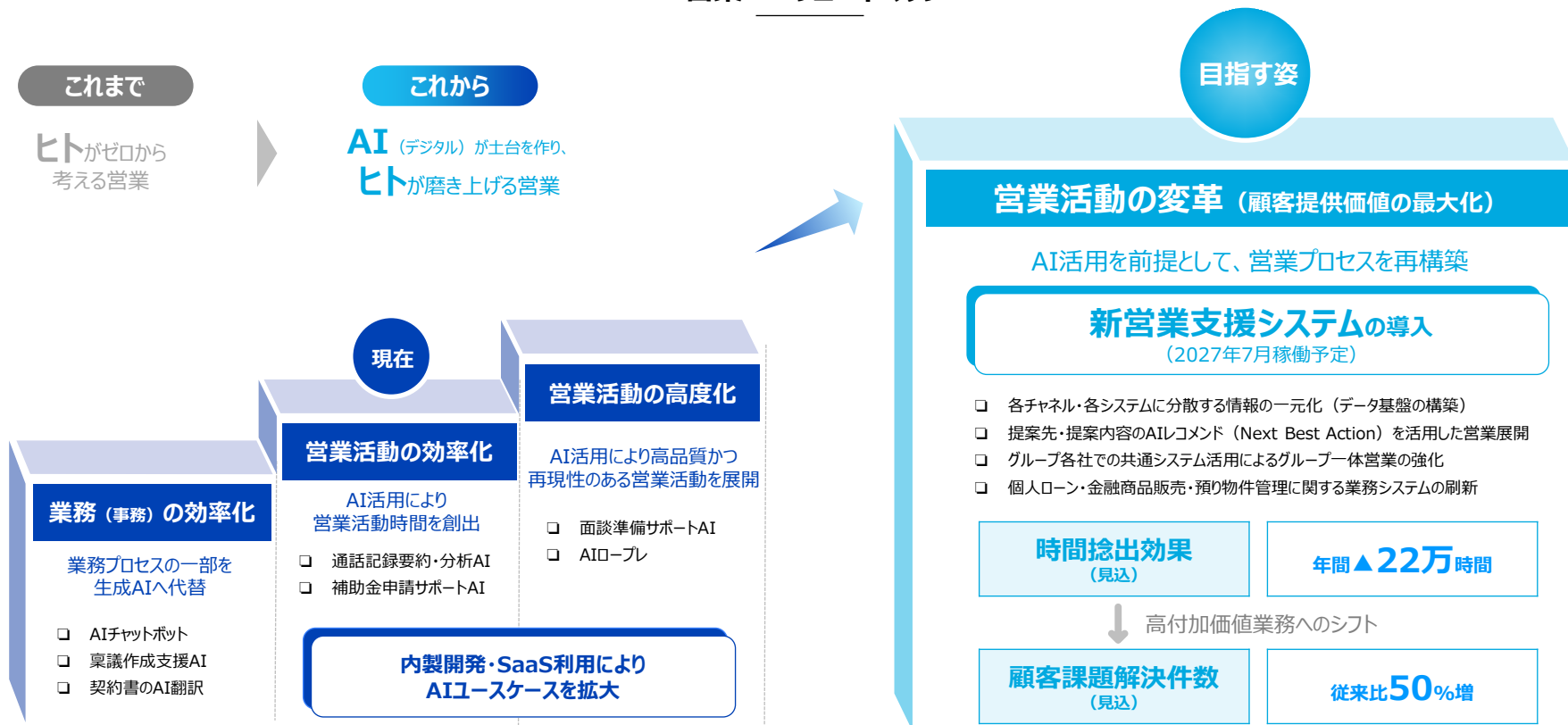


※ 取得額50億円のうち100万株は、ひろしま美術館に対する賛助を目的とした第三者割当による自己株式処分を実施しており、実質的な取得額は39億円として算出

（注）DOEは、配当総額÷株主資本（期初・期末平均）にて算出

- ▶ 新営業支援システムの導入により、AI活用や分散する顧客情報の一元化を実現し、年間22万時間の業務時間削減を通じて高付加価値業務へのシフトを推進。

営業DXのロードマップ



Appendix

－「中期計画2024」の経営目標－

2028年度目標のこれまでの見直し内容

中計最終年度（2028年度）目標

当初

'25/5
見直し後

'25/11
見直し後

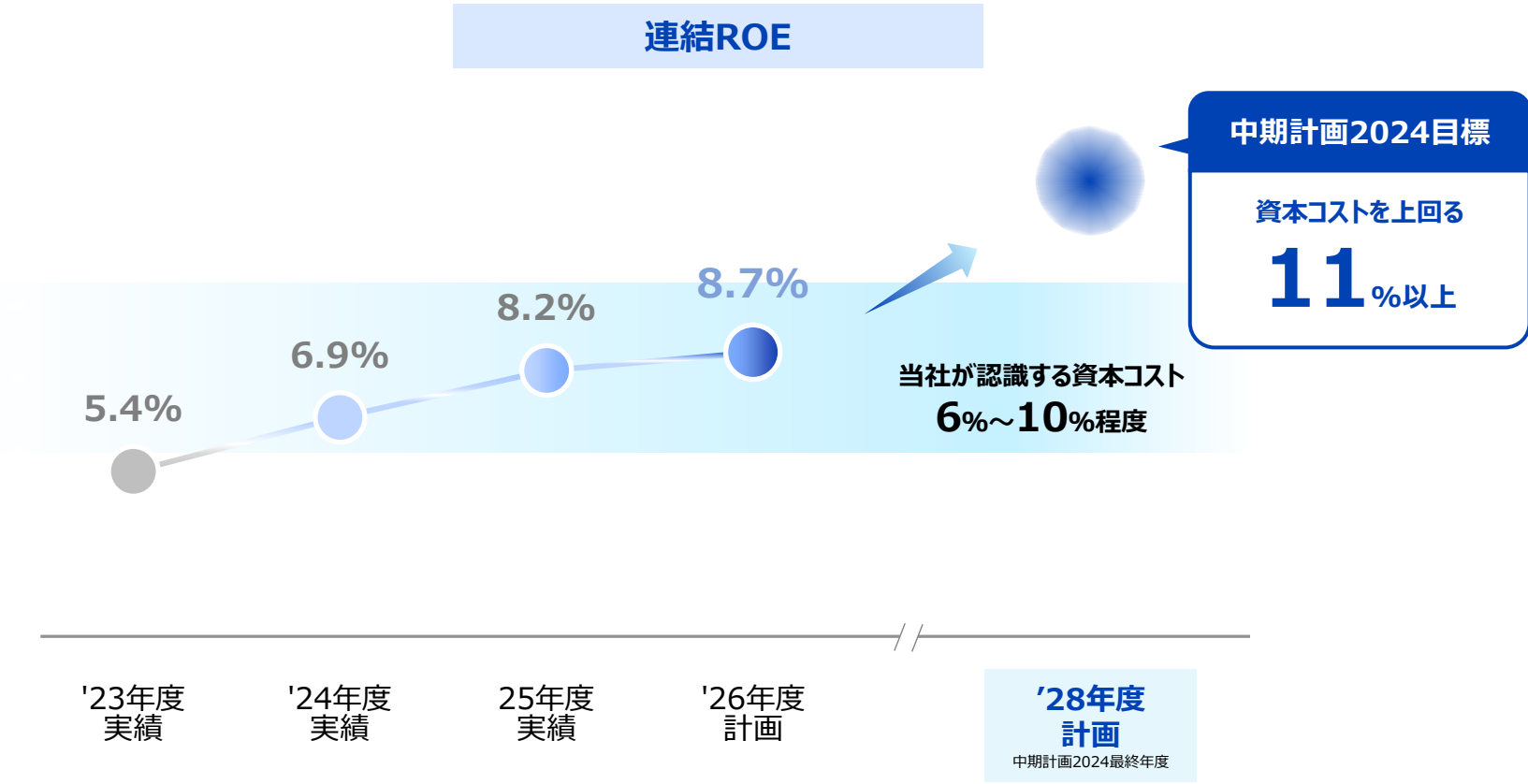
'26/5
見直し後

経営指標

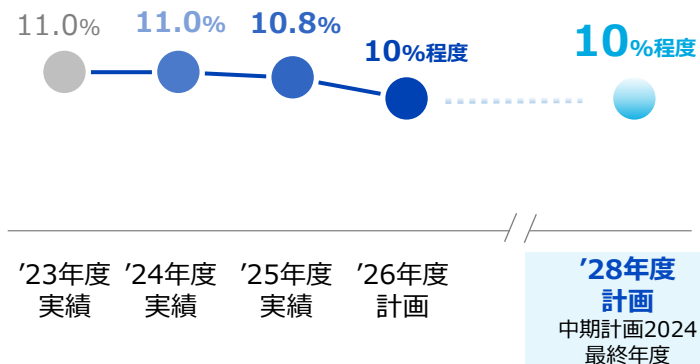
連結ROE	7%以上	→	9.5%以上	→	9.5%以上	→	11%以上
連結自己資本比率	11%程度	→	11%程度	→	10%程度	→	10%程度
連結BPS	2,000円以上	→	2,000円以上	→	2,000円以上	→	2,200円以上

目指す
利益水準

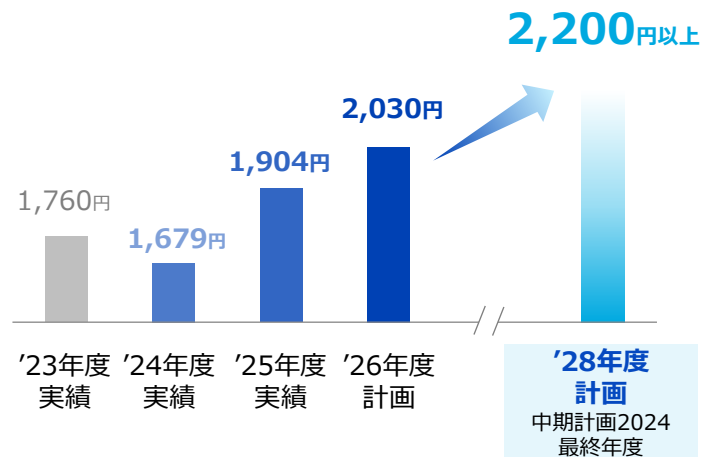
親会社株主に 帰属する 当期純利益	450億円	→	570億円	→	570億円	→	700億円
-------------------------	-------	---	-------	---	-------	---	-------



連結自己資本比率



連結BPS



地域活性化指標の達成に向けた当社グループの取組み

地域活性化指標

広島県の人口社会増減

減少幅縮小
(2028年)

広島県の観光消費額

継続的な増加※
(2028年)

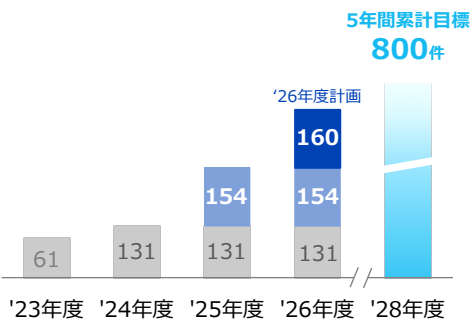
広島県の温室効果ガス排出量

継続的な削減
(2028年度)

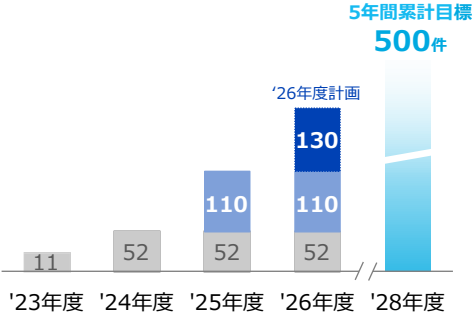
(※) 通過型から周遊型・滞在型観光へシフトすることにより単価を引き上げる

当社グループの取組み

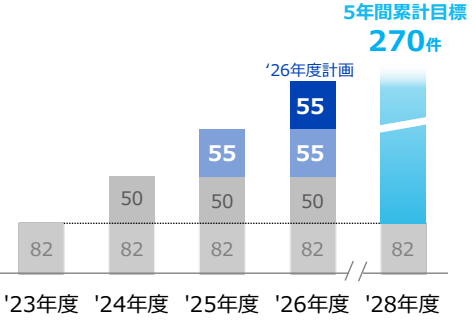
スタートアップ・ベンチャー支援の件数



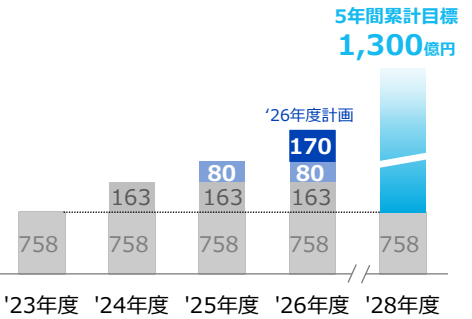
人材紹介の件数



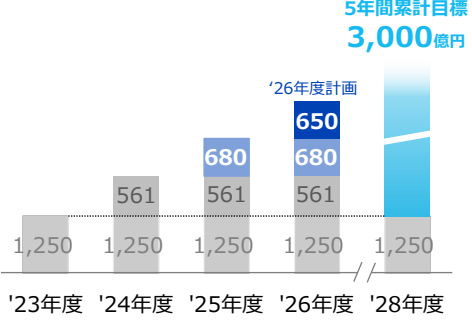
街づくり・地域開発への関与件数



観光業への投融資額



環境ファイナンス実行額



本資料には、株式会社ひろぎんホールディングス（以下「当社という」）およびそのグループ会社（以下「当社グループ」という）に関連する予想、見通し、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合報告書をご参照ください。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、当社は、それらの情報を公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

株式会社ひろぎんホールディングス 経営企画グループ

電話：082-245-5151(代表)

URL：<https://www.hirogin-hd.co.jp/>

